

令和2年度第1回青梅市行財政改革推進委員会議事概要

1 日 時

令和2年10月22日（木） 午後1時30分から午後3時40分

2 場 所

青梅市役所 議会棟3階 第2委員会室

3 出席者

[出席委員]

菊池 一夫委員	川合 純委員	原島正之委員
手塚 幸子委員	島田 彩委員	宇津木順一委員
田邊 晃委員	大住 修司委員	伊藤武夫委員
細谷 秀秋委員		

[出席青梅市職員]

池田副市長以下9名

4 議事概要

(1) 副市長あいさつ

(2) 委員長あいさつ

(3) 新委員紹介

(4) 議題

ア 委員長の職務代理者の指名について

菊池委員長から川合委員が指名され、承認された。

イ 令和元年度の決算の概要等について

【財政課長説明】

令和元年度の決算概要および新型コロナウイルス感染症に対する独自事業の説明。

ウ 青梅市の行財政運営に関する意見交換について

「コロナ禍の現状を踏まえた今後の青梅市の行財政運営に必要な視点・取組」をテーマとし、委員間で意見交換を行った。

(5) その他

・次回委員会は、委員長と調整の上、令和3年1月頃の開催予定。

5 主な質疑・意見等

○ 令和元年度の決算の概要等について

【観】 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見送った事業については、子どもたちが楽しみにしていた事業も多いため、何かしらの形で実施をしてほしい。

モーターボート事業については、テレビのコマーシャルでもたくさん放送がされており、その効果が好調につながっていると思われるので、費用は掛かるかもしれないが、

より周知やPRに力を入れるべきだと思う。

基金について、森林環境整備等事業基金が積み立てられているが、青梅市の面積の63%に当たる森林を活かし、都心の人たちを引き込むようなPRをしてほしいので、貯めるだけでなく有効活用をしていただきたい。

【質問】 災害復旧費が多く発生しているが、これは今年の台風にもとづく費用と思われるが、復旧は完了したのか。また、費用はいつごろまで発生するものなのか。

【回答】 一部の林道等は、まだ復旧が完了していない。令和4年度までは費用が発生すると思われる。

○ 青梅市の行財政運営に関する意見交換について

『企業誘致』

【意見】 法人市民税の落ち込みが気になっている。企業誘致についても、従来のような大きな工場等の誘致は難しいと思われるので、将来を見据えたベンチャー企業の誘致を行うべき。また、企業に対する支援と同時に、企業を育てていくことも大切であり、そうすることにより法人市民税が増加することにつながるのではないかと。

【意見】 法人市民税の落ち込みが顕著となっている。企業の誘致よりも、企業の流出を防ぐことにも注力すべき。

【意見】 企業誘致について、物流拠点では、雇用も少なく人を呼ぶことができないので、宇宙産業等の先端産業を誘致したらどうか。

【意見】 活力ある青梅とするためには、産業が必要。撤退する企業が多いと聞くので、企業が撤退する理由を検証すべき。また、予算については、前例踏襲を見直して経常経費を減らし、なるべく投資的経費を増やすことが必要だと思う。市街化区域編入を目標とするのもよいが、地域が広いので、上下水道、道路等の費用が掛かるともいえるので、今後は居住地域を限定していくことも必要だと思う。

【意見】 新型コロナウイルス感染症の影響で、中小企業が深刻な状況となってくるのが懸念される。現状、一般競争入札条件の引き下げ等により市外事業者の参入が容易であり、工場等の建築物の建築に当たっては、青梅市特別工業地区建設条例で制限がされており、市内事業者は不利な状況となっているが、あらゆる方面から条例等の規制を見直し、過去に規制したものを緩和し、市内事業者が事業をしやすくする緩和を進めていくことが重要ではないかと。

【意見】 空き店舗対策にもっと力を入れてほしい。起業したいと思う方に助成をする制度をもっと充実させてほしい。

『魅力発信』

【意見】 青梅の魅力発信については、非常に弱い。プレミアム商品券や梅の里の再植樹についても、青梅市民が知らない事が多く、広報紙で周知するだけでは伝わらない。市の魅力発信には大胆な方策が必要。

予算については、全体的に散らばっている印象を受けるので、例えば、観光予算は

西部地域へ集中させるといった考えも必要ではないか。

【意見】 総花的な予算は無理。他市町村に勝てる分野に予算を集中させ、日本で有数の観光地を作るべきだと思う。例えば御岳山の宿坊等は、他にはない魅力を持っているので、勝てると思う。

【意見】 青梅ブルーについては、商工会議所内ですら認知度が低く浸透していない。また、市役所食堂で扱っている日本酒は澤乃井でなかったり、福祉センターの宴会場では、ポップルトの雫が置いておらず、過去には自治会長の退任記念品では、今治タオルを贈呈したこともあった。青梅の特産品を広く市民にもっと推進する必要がある。

【意見】 入社まもない職員や、役職者登用の際などに、地域特性や地域愛に基づいた行動指針などについての教育を取り入れることも大切ではないか。

【意見】 市職員が、商店等の現場をもっと見て、現状を知ることが重要。

市内にも外国人の姿を目にすることが増えた。引っ越してきている外国人も多く、青梅市は自然が豊かで住みやすいとの声も聞くので、外国人を対象とした定住策をもっと推進すべきだと思う。

【意見】 魅力発信については、文字や言葉だけでなく、具体的に見える形にすることが大切だと思う。青梅線の、東京駅までの直通電車が1時間に複数本あることは、青梅の魅力の一つである。都心まで通勤等する人たちに対し強みと言えるのではないか。青梅線の将来を考えて、青梅線の乗客増を図る施策など、青梅線を大事にすることが必要である。

【意見】 特産物や観光地を使ったマーケティングやPRが不十分である。文字よりも画像や動画等のビジュアルで訴える方が効果が高いものもあるので、改善の余地があると思う。

【意見】 市の仕事は、その事業自体をすべてやるのではなく、その事業をやりたいと思っている市民や事業者の背中を押したり、つないだりすることが大事だと思う。まだまだ市内にもいろいろなことをやりたいと思っている方々がいる。

【意見】 保育園が適切に配置されるなど、青梅市は、保育園が他市と比べて充実している。この辺りも青梅の強みとしてPRできるのではないか。

『歳入確保』

【意見】 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている総合病院に対し、今後青梅市からの繰出金がいくらになるか心配である。経営サイドに病院経営に長けた人がどのくらいいるのかが気になる場所である。

【意見】 市職員には危機感を持って仕事をしていただきたい。もし、歳入が不足しても、国からの交付税で措置されることに安心している部分があるのではないか。あくまで、自主財源の確保が最優先であってほしい。

『デジタル化』

【意見】 急速に進んでいるデジタル化については、単にまわりと同じようにやるのではなく、青梅らしいデジタル化を目指す、それが青梅の魅力になると思う。例えば、高齢者

が多い青梅市なので、高齢者1人でも手続き等ができるようなデザインにすることもテーマのひとつにしてもいい。

【観】 GIGA スクール構想にもとづく1人1台端末についても、勤務等で保護者が子どもと一緒にいられない家庭でも、子ども1人で学習できるように画像や動画等のコンテンツを充実させて整備することが大切だと思う。

【観】 粗大ごみのチャットボットは、とてもよくできている。スマートフォンでアクセスでき、今までのように冊子を見たり、問い合わせることをしないで、知りたいことが分かる。こういった視点でもっと他の事も展開できるといいと思う。

【観】 現状の施設予約システムは20年前のシステム程度の内容で、登録は窓口、予約は電子、支払いは窓口、利用時には紙を持っていくなど、デジタル化が登録から利用まで完結せず中途半端な状況で、とても使い辛いので改善が必要だと思う。

『教育・子育て』

【観】 将来の人材育成を進めるに当たって、青梅市の立地からも市立学校の教育の質の向上が重要である。GIGA スクール構想は先端的な技術を使って教育の質を高めるチャンスだと思う。1人1台の端末を整備することだけではなく、どのように運用・指導を行うかが重要である。

教育の質を高めるための学校の統合も、今後、考えられると思う。

【観】 GIGA スクール構想のハード面の整備は、国の政策が前倒しで進んでいるようなので、今後は教師のフォローや分かり易さなど実務でのソフト面を柔軟に変化させていくことが重要となってくると思う。

【観】 子育て施策の一環として、質の良い教育の充実を図るためにも、教員の研究活動についての支援を推進してほしい。

『情報発信』

【観】 国や都の補助金・助成金制度の情報発信が遅い。9月から10月末までの募集期間のものについては、それを知ったのが10月上旬だった。近隣の福生市では、9月上旬には情報が発信されていたと聞いているので、もっとアンテナを張ってほしい。

【観】 青梅市は情報の発信が遅く、ホームページも探したい情報も探しづらい。各ページで利用者に対するアンケートが「このページの情報は役に立ちましたか？」や「このページは見つけやすかったですか？」とあるが、回答の選択肢の「はい どちらでもない いいえ」の中で、規定値が「どちらでもない」になっており、これでは集計しても「どちらでもない」が多くなってしまう。今回のコロナ禍での状況下では、本来は、職員が直接市民の声を聴くことが望ましい。それが難しいなら、記述式等の定性項目でアンケートを取り、それに応えていくことが大切ではないか。

『その他』

【観】 市長がもっとトップセールスをするとういと思う。見栄えもする方なので、もっと

もっと表に出ていただきたいと思う。

地元選出の井上代議士が万博担当大臣となった。5年後の大阪万博に向けて、大阪との連携も視野に入れたらどうか。

【意見】 民生費が年々増大しているのは、承知しているが、どのような状況の方でも行政サービスの谷間に落ちないようにお願いをしたい。

【意見】 買い物代行サービスについては、認知度が低く、いきなり家に通知が届き詐欺かと思ったという声があった。事業自体はとても良いものなので、通知の送り方を工夫するなど、説明を丁寧に行ってほしい。

【意見】 市民センターは、地域住民にとって最も身近な存在である。地域において重要な役割を果たしているので、今後も大事にしてほしい。

【まとめ】 今回の意見交換の中では、共通して発言されている部分も多く見られたので、そこをもう少し掘り下げて、次回の委員会に継続して意見交換を実施していくこととする。

以上